

指定管理者モニタリング結果報告書（令和7年度分）

- ・施設名：塩飽勤番所跡
- ・施設所管部課：教育部文化財保存活用課
- ・指定管理者：史跡塩飽勤番所顕彰保存会

区 分		内 容
実施時期		定期モニタリング：令和8年2月27日（金）午前11時30分～ 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施
実施方法		定期モニタリング：指定管理者業務状況聴取表により調査を実施 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施
実施結果	① 施設の状況	展示ケース内の電球が切れている部分についてLED化を実施した。また音声ガイドに不具合があったため修繕を行った。他に襖や畳が劣化しているので検討し対応していきたい。
	② 施設の利用状況	年間5,177人（前年度3,444人）※各年度1月末現在 前年度より、大幅に増加している。
	③ 施設利用者の意向把握と対応	現在アンケートは実施していないが、利用者とコミュニケーションをとり、要望等を聞いている。
	④ 管理体制	3名の管理人で交代勤務としている。土日祝は2名、平日は1～2名での管理。会長は必要に応じて出勤している。
	⑤ 管理経費	節電に努め、無駄な経費が発生しないよう取り組んでいる。 また、施設サービスの維持に必要な人員を確保しながら、経費の適正な執行に努めている。
	⑥ 緊急時の対応について	緊急時には、管理人から会長へ速やかに連絡を行い、会長から教育委員会や消防団等関係機関へ迅速に連絡する体制としている。 また、休館日についても、異常を発見した際には会長へ連絡してもらえるよう隣家へ依頼し、連絡体制を整えている。
	⑦ その他 （指定管理者の業務遂行能力等）	指定管理者の財務状況に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障は見られない。
	⑦ 改善指示事項	引き続き、利用者増加に向けた方策の検討に努めるとともに、文化財の保存と活用について取り組まれない。
実施結果に対する所管課の意見		施設内外の清掃や来場者への対応を継続的に実施し、適切な施設管理に努めている。また、来場者数も回復傾向にあることから、引き続き利用促進とサービス向上に取り組まれない。
今後の施設管理に反映(改善)する事項		引き続き必要な修繕等を適切に実施し、施設の維持管理に努めるとともに関係団体と連携しながら利活用の促進及び来館者増加に取り組んでいく。